

# 公益社団法人松阪青年会議所

## 2018年度 所信

副理事長 浅井 俊一

### 〈所信〉

死ぬか生きるかの選択を迫られた時、一片の迷いもなく死を選ぶのが武士道の神髄であるように「やる」か「やらない」かを即座に「やる」を選択するのが青年会議所の神髄です。その魅力を熱く語る多くの先輩の背中を追い求める中で「青年会議所しかない」時代から「青年会議所もある」時代になりました。しかし、いつの時代も社会を変えていくことができるのは「青年会議所しかない」のであります。

青年会議所はまちの課題を抽出し、課題解決に向けた企画立案を行い、実行する団体であります。そして、指導力開発から社会的価値のある人財を育成しており、社会的信頼を確固たるものとしています。さらに、我々が受け継いできた「目に見えないモノ」を大切にする価値観は変わる事なく、未来への投資を基軸とした姿勢を伝播することで、社会に必要とされる団体へと進化を遂げなければなりません。

まずは、松阪市の経済を成長させるには人手不足における生産性の向上により豊かな社会に向けた一歩にすることが重要であります。日本国全体では、総人口の減少以上に生産年齢人口の減少が加速しており、国民の生産性を向上することができれば再び高度経済成長を遂げる好機を迎えているのであります。そして、その先端に立つのは我々青年会議所であり、現状と未来を示す数値的根拠から立案、実行に移し、必ず結果を出し続けることで松阪市民の共感を集め、社会の仕組みを変えることで松阪市は発展していきます。さらに、我々の魅力を発信する広報戦略を展開できれば指導力開発に欠かせない創造性と自主性を兼ね備えた青年会議所の人財育成ができ、好循環を生み出すことと確信しております。

むすびに、「目に見えるモノ」は全て無くなる運命、ゆえに新たな松阪を変える運動力を生むべきであります。今しかできないこと、自分にしかできないことがあります。自己成長の機会として共に成長してまいりましょう。